

豊平商店街

若者の視点で魅力向上を

豊平地区では、昨年の七月に北海道文化服飾専門学校の学生たちが、グループごとに「まち」を調査し、若者の柔軟な発想による「とよひらのまちの活性化策」を発表しました。流行に関心の強い学生の視点で商店街の活性化につなげようという新たな試みです。「空き店舗の利用」や「学校と商店街が連携したお祭りの開催」などさまざまな提案がなされました。

「とよひら職人物語」

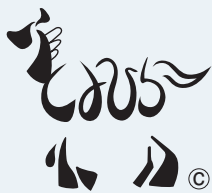
豊平商店街振興組合では、まちづくり団体「フロンティア豊平21」との共催で、職人技を披露、体験し、地域



▲多くの人でにぎわう「とよひら職人物語」

豊平の歴史を伝える独自商品の開発

独自の馬紋様のロゴマークを付けた「とよひらブランド」商品の開発も進めています。ロゴのデザインとなった馬の絵柄は、人々の仕事のパートナーとして強い信頼関係をもって活躍した馬をしるべとして、愚直に信用を大切に生きる商人魂を表現しています。



の個店の推奨品を販売する「とよひら職人物語」を毎年開催しています。豊平地区は、明治のころより馬具屋、醸造所、鍛冶屋、染物屋などが建ち並び、職人・商人のまちとして発展してきました。その歴史ある豊平で、ふすまの張り替え、アイロンがけ、染色の技などの実演や展示を通して地域の人々と交流し、商店街の活性化を図っています。

魅力づくりのための独自の取り組み

「記念日工房」

月寒中央商店街に、空き店舗を利用した「記念日工房」が開設されています。

ここでは、同商店街のほかに、札幌大学や地域住民も設立、運営に参加し、まちの再生を考える取り組みが行われています。

運営委員会では、地域活性化のための提案を行っています。店舗の活性化を考える「記念日探検隊」を設置し、商店街の店舗内を探検して、その特徴を生かした活性化案を提案したりもしています。

そのほか、商店街の複数の異業種商品を「記念日サービス」としての販売や、看護協会の協力を得て、健康管理や健康相談会の講座の開催なども行っています。

豊平商店街振興組合
 ○問い合わせ先
 ☎(815)7005
 ○ホームページ
<http://www1.ocn.ne.jp/~toyohira/index.htm>

ます。毎年好評で、会場は多くの人でにぎわっています。

「工房」には、常駐スタッフがおり、パソコンを使い、低料金でお祝い状やプレゼントカードの作成、ラッピングやフラワールレンジメントを製作することができます。

地域活性化のための記念日の「工房」

この工房に参加している札幌大学の大学院生や経営学部の学生は、ホームページの開設、パソコン講習会などさまざまな形で活動を支援しています。

「郊外型大型店舗が出没している中で、商店街を含めて地域に新しい仕組みづ



▶フラワールレンジメント講座の様子

くりを提案していくことが必要となっています。地域の中で特性を出し合うといういろいろなことができます」と月寒中央商店街振興組合専務理事の山田良一さんは語ります。また、「地域にもっと馴染んでもらえるよう、これからもいろいろ企画を提供していきたい」と話しています。



記念日工房

- 所在地 月寒中央通4丁目4-22
- 営業時間 午前11時～午後5時
- 定休日 土、日曜日
- 開設日 平成16年(2004年)8月
- 問い合わせ先 ☎855-9150
- 交通 地下鉄月寒中央駅から徒歩7分
- ホームページ
<http://www14.plala.or.jp/k-koubou/>

